



令和3年度 十和田市立三本木小学校 学校だより

令和3年10月1日(金)



杉の子 No. 7

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

前へ歩みを進めつつ

校長 江渡 準 悦

9月初旬より青森県が取った「感染症緊急対策パッケージ」の期間をようやく終え、本日から様々な制限が緩和となりました。ただ、9月末現在、人口10万人当たりの1週間新規感染者数の状況が、都道府県別で本県は全国10番目の多さであり、減少傾向は続いているものの、まだまだ気を付けなければならない状況は続いております。

さて、本校の10月以降は、様々な行事が目白押しとなります。全校的には、昨年度は早々に開催を断念した音楽発表会を、今年度はすでにお伝えしている新しい形で行いたいと考えております。また、低学年の学区内探検、中学年の校外学習、高学年の宿泊学習や修学旅行など、子供たちにとって楽しみながら行事がたくさんあります。どれも感染拡大防止対策のため例年通りとはなりません。様々な体験的活動を通して、子供たちの知る喜びや学ぶ楽しさを引き出していきたいと考えております。

このように、本校では、コロナ感染症が収束した後のことも考えながら、少しずつ教育活動の充実を模索しながら進めているところです。しかし、普段の教育活動や行事などは、充実に向けた加減を調整することは可能ですが、人の「つかれた心」は、そう簡単には回復へと向かわせることはできないと考えています。

なぜなら、コロナ感染症への対応が始まって約1年半が経ちましたが、この間、新型コロナに大きく振り回され続け、子供も大人も「目に見えない疲労」が蓄積していると考えます。下記に国立機関のある調査結果を紹介します。

(国立研究開発法人国立成育医療研究センター調査より)

『新型コロナウイルスと子どものストレスについて』

- ・何でも「コロナだから…」ばかりで、自分の行動や気持ちを制限されている気がした。せつかくの小学校生活最後の年なのに、なんだか悲しかった。
- ・大人は大人で、いろいろ大変なのかなと思って、相談しづらくなってしまった。
- ・1年以上、遠い親戚や友達に全く会えないことがとてもつらい。等々

この調査からは、新型コロナウイルス感染症の拡大で、子どもたちは多くのストレスを抱えていること、そして、家族も同じように目に見えない疲労をため込んでしまっている様子が見えてきます。また、特に留意したいのは、ストレスが表に現れて周囲から気付いてもらいやすい子供以外に、ストレスをうまく発散できないまま、おとなしく我慢している子供がいるということに、より目を向けて行かなければならないと、私たちは考えています。

学校は今、創意工夫を絞り出しながら少しずつ前に向かって歩みを進めているところですが、子供のストレスを察しながら、問題の早期発見や予防に努めていきたいと考えております。下記に、普段私がよく参考しているサイトを紹介します。「親子でできるストレス対処法」、「子供と関わる大人の方へ～子供の自律神経とストレスのお話」などがございますので、親子で一緒に見て頂き、ストレスとのつきあい方について参考にして頂ければと思います。

国立研究開発法人国立成育医療研究センター『新型コロナウイルスと子どものストレスについて』 <https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

9月全校集会から

9月中旬に、東京パラリンピックでの選手たちの活躍を取り上げながら、2学期の全校のテーマ【挑戦】について、子供たちに話して聞かせました。青森県が取った「感染症緊急対策パッケージ」期間中で、体育館に子供たちを集めることができませんでしたから、私の話に加え、右のような様々な競技のダイジェスト版の動画をDVDに録画して、各学級で視聴してもらいました。

【視聴後の子供たちの感想】

- 何かを失っても、そこで諦めないで進んでいく、前を向いて進んでいくことが大切だと思いました。
- どんなことがあっても頑張れば、すごい人になれるということが分かりました。
- 私もできないことでも挑戦して、自分の力を信じて諦めないで挑戦したいと思いました。
- 「失ったものを数えるな 残されたものを最大限に生かせ」という言葉を大事にして、諦めない立派な勇気をもった大人になりたい。

子供たちは、困難があるとどうしても「自分には力が無い」とか、「勉強したって、点数取れない」と言って、足りないことに目を向けがちになりますが、一度や二度で諦めないで挑戦し続ける勇気をもってほしいと思っています。



いかのおすし



先週の金曜日に防災訓練(不審者対応)を行いました。万が一不審者が校内に侵入した場合の対処法について学びました。どの子も、本当に不審な人物に遭遇した場合を想定した真剣な態度で参加しました。この他に、グラウンドで遊んでいるときや休みの日などに遭遇した場合の取るべき行動についても確認しました。ご家庭でも時々話題にするなどして、自分の命をしっかりと自分で守れる子を育てていきましょう。

マラソン記録会



すごしやすい季節となり、学年毎のマラソン記録会が盛んに行われております。今年度から、事務室前にマラソンの最高記録を男女別に掲示しておりますが、記録が破られるまでは何年でも掲示することとしております。より上を目指そうとする意欲付になればと考えております。

ところで、左記の写真はある学年のマラソン記録会の様子を写したものです。この子らの前には一番最後になった子が走っています。自分の組に関係なく、最後になった子に伴走してゴールするまで励ましている様子です。仲間の所へ駆けだしていく子供たちの姿に、競い合いの中に生まれた思いやりの心を見ることができました。